令和2年7月29日

令和2年 第7回

東大和市教育委員会定例会会議録

東大和市教育委員会

令和2年第7回東大和市教育委員会定例会会議録

1. 日 時 令和2年7月29日（水曜日）午後2時00分～午後3時09分

2. 場 所 東大和市役所会議棟第6・第7会議室

3. 出席委員 1番 真 如 昌 美（教育長）

2番 岩 田 圭 子

3番 藤 宮 志津子

4番 新 藤 久 典

5番 内 野 裕 子

4. 欠席委員 なし

5. 説明職員

学校教育部長 田 村 美 砂

社会教育部長 小 俣 学

学校教育部

参 事 兼 佐 藤 洋 士

教育総務課長 斎 藤 謙二郎

教育指導課長

建築課長兼

教育施設担当

副 参 事 中 橋 健

給食課長 原 里 美

統括指導主事 富 田 和 己

社会教育課長 高 田 匡 章

中央公民館長 佐 伯 芳 幸

中央図書館長 當 摩 弘

6. 書 記

庶務係長 一ツ木 正 美

主 事 後 藤 梨里香

○議事日程

- 第 1 会議録署名委員の指名
- 第 2 教育長諸務報告
- 第 3 第 15 号報告 事務の臨時代理の承認について
- 第 4 第 38 号議案 東大和市立学校の適正規模及び適正配置等の方針（案）及び東大和市立小・中学校再編計画（案）について
- 第 5 第 39 号議案 東大和市立学校職員出勤簿整理規程の一部を改正する規程
- 第 6 第 40 号議案 東大和市学校給食センター給食費に関する規則の一部を改正する規則
- 第 7 その他報告事項
 - （1）平成 31 年度東大和市学校給食会計決算の報告について
 - （2）地区図書館への指定管理者制度導入に係る東大和市立図書館条例の一部改正の骨子について

◎開会の辞

○真如教育長 令和2年第7回東大和市教育委員会定例会を開催いたします。

◎日程第1 会議録署名委員の指名

○真如教育長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、内野委員にお願いをいたします。

○内野委員 はい。

○真如教育長 よろしく申し上げます。

○内野委員 申し上げます。

◎日程第2 教育長諸務報告

○真如教育長 日程第2、教育長諸務報告を行います。

令和2年6月30日から令和2年7月27日までの諸務報告であります。

6月30日、火曜日、定例校長会に出席をいたしました。

7月8日、水曜日、行政改革推進本部会議に出席をいたしました。その後、東京都市教育長会に出席をいたしました。

7月10日、金曜日、教育委員懇談会に出席をいたしました。

7月20日、月曜日、七市教育長会に出席をいたしました。主に話が出たのは新型コロナウイルスの感染の状況、その対策についてです。また、GIGAスクール構想についても意見交換をして、それぞれ市の取組について説明を受けました。

7月27日、月曜日、第13回総合計画策定本部会議に出席をいたしました。

以上でございます。

教育長諸務報告が終わりました。

ただいまの報告につきまして、ご質疑ございましたら、ご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、教育長諸務報告を終わります。

◎日程第3 第15号報告 事務の臨時代理の承認について

○真如教育長 日程第3、第15号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

学校教育部長。

○田村学校教育部長 ただいま議題となりました第15号報告 事務の臨時代理の承認についてにつきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、令和2年度東大和市一般会計補正予算（第4号）であります。一般会計補正予算（第4号）は、令和2年第1回市議会臨時会に第39号議案として提出され、7月28日に原案どおり可決されております。

本件につきましては、7月10日に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金など、国や東京都の補正予算を受けて緊急に実施しなければならない事業について、補正予算資料の提出依頼があり、7月21日に市議会へ議案を提出する必要があったため、教育委員会定例会に付すことができず、令和2年7月14日付で事務の臨時代理をさせていただきましたので、今回の教育委員会定例会にてご報告申し上げ、承認をお願いするものであります。

内容につきましては、学校教育部関係は私より、社会教育部関係は社会教育部長よりご説明を申し上げます。

それでは、令和2年度東大和市一般会計補正予算（第4号）のうち、学校教育に関する概要につきまして、ご説明を申し上げます。

補正予算資料の1ページ、2ページをお開きください。

こちらは、歳入でございます。

財源を充当する事業の内容につきましては、後ほど歳出のところでご説明をさせていただきます。

15款の国庫支出金、2項国庫補助金、7目教育費国庫補助金、2節の小学校費補助金は1,625万1,000円の増額でございます。

その下、中学校費補助金は784万6,000円の増額でございます。

2ページの説明欄をご覧ください。

これらは、いずれも国の学校保健特別対策事業費補助金交付要綱に基づく歳入であります。

その下、第6節の保健体育費補助金は167万1,000円の増額であります。こちらは国の学校臨時休業対策費補助金交付要綱に基づく歳入であります。

続きまして、資料の3ページ、4ページをお開きください。

16款都支出金、2項都補助金、8目教育費都補助金のうち、1節教育総務費補助金は972万2,000円の増額でございます。

4ページの説明欄をご覧ください。

スクールサポートスタッフ配置事業補助金の増額として468万2,000円、新規となります学習指導サポーター配置支援事業補助金として504万円を歳入とするものであります。

2節小学校費補助金は505万2,000円、その下、3節中学校費補助金は244万7,000円の増額であります。これらは東京都の区市町村立学校における新型コロナウイルス感染症対策支援事業補助金としての歳入であります。

続きまして、資料の5ページ、6ページをお開きください。

こちらは、歳出でございます。

10款教育費、1項教育総務費、3目教育指導費は1,331万7,000円の増額であります。

内訳でございますが、6ページの説明欄をご覧ください。

上から事業番号11、教育指導管理事務費の報償費は504万円の増額であります。

新型コロナウイルス感染症対策による休校措置から、学校を再開した後、感染症予防策の徹底、実施について定着を図るべく、教員の負担が特に増大する間、子どもの学びの保障をサポートするため、学校教育活動を支援する人材として、学習指導サポーター配置をするための予算措置であります。主な職務内容といたしましては、教室内における児童・生徒への補助、それから補習や家庭学習の準備支援等であります。

次に、事業番号18、学力・授業力向上推進事業費は468万2,000円の増額であります。今般の新型コロナウイルス感染症により、学校再開後の学校の運営体制の充実を図るため、現在配置がされておりますスクールサポートスタッフの配置の増を行うものであります。

続きまして、事業番号20、新型コロナウイルス感染症対策事業費は359万5,000円の増額であります。修学旅行や移動教室の中止に伴い、発生いたしましたキャンセル料につきまして計上したものであります。

続きまして、2項小学校費、1目学校管理費は4,099万6,000円の増額であります。

説明欄をご覧ください。

各校の感染症対策に必要な消耗品費の購入として980万2,000円の増額、その下の備品の購入といたしまして2,119万4,000円、教室の網戸購入費として1,000万円を計上したものであります。消耗品費及び備品につきましては、各学校の要望に基づき購入する物品であります。

続きまして、4目学校保健衛生費は390万4,000円の増額であります。

説明欄に移りますが、事業番号の2、新型コロナウイルス感染症対策事業費は、学校の再開に伴う新型コロナウイルス感染症拡大防止に必要な消毒剤などの消耗品費の増額であります。

7ページ、8ページをご覧ください。

10款教育費、3項中学校費、1目学校管理費は1,999万7,000円の増額であります。

説明欄をご覧ください。

各校の感染症対策に必要な消耗品費の購入として313万5,000円の増額、備品の購入として1,186万2,000円、教室の網戸購入費として500万円を計上したものであります。こちらの中学校費におきましても、小学校費と同様に消耗品及び備品につきましては、各学校の要望に基づき購入する物品であります。

続きまして、その下、4目学校保健衛生費は195万2,000円の増額で、先ほどの小学校費と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大防止に必要な消毒剤などの消耗品費の増額であります。

続きまして、9ページ、10ページをご覧ください。

10款教育費、5項保健体育費、3目学校給食費は762万6,000円の増額であります。学校給食の牛乳パックにつきましては、これまでご説明をさせていただきましたとおり、令和2年度から児童・生徒が牛乳パックを洗浄し処理をする予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、感染リスクを下げ、またリサイクルを推進するため牛乳パック洗浄機を購入し、対応する経費を計上したものであります。

牛乳パック洗浄業務委託料として210万円、牛乳パック洗浄機等購入費として422万4,000円を計上するものであります。

また、学校の臨時休業に伴い、学校給食の提供停止に伴う補償費として130万2,000円を計上するものであります。

学校教育関係は、以上となります。よろしくお願いたします。

○真如教育長 社会教育部長。

○小俣社会教育部長 それでは、社会教育部の関係で説明をさせていただきます。

7ページをご覧いただきたいと思います。

10款教育費、4項社会教育費は466万9,000円の増額であります。

その下、2目公民館費は6万円の増額であります。

8ページの説明欄になりますけれども、真ん中下辺りの、事業番号7、新型コロナウイルス感染症対策事業費も同額であります。

内容であります、10節需用費、①消耗品費の6万円は、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用いたしまして、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、公民館の地区館の窓口にアクリル板の設置を行うための予算でございます。

続きまして、7ページの3目図書館費につきましては460万9,000円の増額であります。

8ページの説明欄になりますけれども、事業番号5、新型コロナウイルス感染症対策事業費も同額であります。

内容は2つございます。

まず、10節需用費、①消耗品費の68万2,000円につきましては、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しまして、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、市民が使います18台のパソコンと、職員が使っております35台のパソコン、合わせまして合計53台のパソコンにキーボードがございしますが、そのキーボードにカバーをつけて、そのカバーを消毒することで、職員の負担軽減と消毒に伴う消毒時間の短縮を図りたいと考えております。また、地区館の窓口に設置をいたしますアクリル板、10台、並びに飛沫感染防止のビニールシートの購入に伴う予算を計上するものであります。

もう一つは、17節備品購入費392万7,000円です。こちらは同じく国の交付金を活用いたしまして、図書などを媒介とした新型コロナウイルスの感染拡大の防止のため、各館に図書消毒機を購入しまして、利用者に少しでも安心して図書館の本を読んでもらいたいということで、そちらの備品を購入するための予算でございます。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○真如教育長 説明が終わりました。

ご質疑あれば、ご発言をお願いいたします。

藤宮委員。

○藤宮委員 図書消毒機はどんなものですか。

○真如教育長 中央図書館長。

○當摩中央図書館長 紫外線を利用して図書を消毒します。電子レンジのようになっています。ドアを開けていただいて、利用者がそこへ借りた本をご自身で入れていただくのですが、一度に6冊まで入ります。本を開いた状態で入れていただいて、紫外線を照射してウイルス等の殺菌を行う装置になっています。

コロナウイルスのためにつくられた消毒機ではないのですが、もともとノロウイルスやインフルエンザにも効果があるということで開発されたものです。コロナウイルスが紫外線のC波にも効果があり、安全性も高いということで、注目されていますので、今回、各館に1台ずつ購入を認めていただいたという内容になります。

以上です。

○藤宮委員 分かりました。

○真如教育長 ほかにございますか。

内野委員。

○内野委員 牛乳パック洗浄機についてお伺いします。この機械が入ったということは、今後ずっと子どもたちが洗浄はしなくて良いということになるのでしょうか。

○真如教育長 給食課長。

○原給食課長 牛乳パックの洗浄については、去年、いろいろ準備をして、子どもたちに洗浄してもらうように準備をしていましたが、この状況なので、当分の間はこの機械を利用したいと思っておりますが、今後、コロナウイルスが、例えばワクチンができて、今よりも安心な状況になってきましたら、また子どもたちが洗浄することも考えたいと思っております。

○真如教育長 学校教育部長。

○田村学校教育部長 今回この機械を入れるのは、給食センターに入れるのですが、お子さんが社会科見学などで給食センターに来たときに、その機械を見て、自分たちが飲んで、畳んで袋に入れて持っていかれたものが、給食センターでリサイ

クルをして、回収されているのだということが、今まではそういう過程が見れなかったのですけれども、この機械を買うことによって、そういった過程が見れることになりますので、それはそれで一つ良い機会だと思っています。

今、給食課長が申しましたように、ただ一番良いのはお子さんが自分たちで洗浄して、ご家庭で行っているように洗って、開いての作業ができることが、一番良いと思いますので、またいつ行えるかは分かりませんが、また検討できるときが来ると良いなと思っています。

○内野委員 アレルギーのお子さんがちょっと気になったので、例えばアレルギー、乳アレルギーのお子さんがいらっしゃる学校は洗浄機を使って、もしいらっしゃらない学校であれば、子どもたちが自分たちの手でリサイクルに何か携われれば良いかと、状況によって多分使い分けてくださるのかなと思いました。

ありがとうございました。よろしくお願いします。

○真如教育長 ほかにございますか。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第3、第15号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を承認とすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○真如教育長 ご異議なしと認め、第15号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を承認と決めます。

◎日程第4 第38号議案 東大和市立学校の適正規模及び適正配置等の方針(案)及び東大和市立小・中学校再編計画(案)について

○真如教育長 日程第4、第38号議案 東大和市立学校の適正規模及び適正配置等の方針(案)及び東大和市立小・中学校再編計画(案)について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

学校教育部長。

○田村学校教育部長 ただいま議題となりました第38号議案 東大和市立学校の適

正規模及び適正配置等の方針（案）及び東大和市立小・中学校再編計画（案）についてにつきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件につきましては、令和2年第1回教育委員会定例会においてご説明をし、案としてご承認をいただき、令和2年3月にパブリックコメントを実施いたしました。

その後、令和2年第4回定例会において、パブリックコメントの結果についてご報告をし、令和2年第4回教育委員懇談会において、ご意見をいただいたところでございます。

教育委員の皆さまからは、学校関係者の皆さまへ内容の説明をする必要があるとのご意見をいただいたこと、またパブリックコメント期間中に行う予定でありました説明会につきまして、令和2年3月2日から学校が臨時休業となったため実施できなかったことから、令和2年7月17日及び20日に説明会を実施いたしましたので、そのご報告を申し上げるとともに、市民の皆さまから寄せられましたパブリックコメントの意見に対する考え方及び本方針、計画についてご承認をお願いするものであります。

詳細につきましては、教育総務課長からご説明を申し上げます。

○真如教育長 教育総務課長。

○斎藤教育総務課長 それでは、私から詳細につきましてご説明を申し上げます。

まず各学校への説明会につきまして、第三小学校と第九小学校の学校運営連絡協議会の説明を実施いたしました。

第三小学校につきましては、令和2年7月20日の月曜日、9時半から第三小学校の教室をお借りして実施いたしました。出席者は、学校運営連絡協議会委員の9人と、校長、副校長の合計11人でございます。

第九小学校につきましては、令和2年7月17日、金曜日の午後3時から、第九小学校の教室をお借りして実施しました。出席者は、学校運営連絡協議会委員の12人及び校長、副校長の合計14人、あと時間帯によりますが、その他、第九小学校の主幹教諭の先生方等もお見えになりました。

当日の内容でございますが、東大和市立学校の適正規模及び適正配置等の方針（案）、東大和市立小・中学校の再編計画（案）を配布いたしまして、全体を説明するとともに、当該校の箇所を重点的に説明いたしました。

その後、出席者の方から質問やご意見をお受けいたしまして、市の考え方など

を改めて説明したところでございます。

質問や意見の内容につきましては、今後の進め方などが多かった状況でございます。

次に、パブリックコメントにおいて、市民の方からいただいた意見に対する市の考え方についてでございますが、お手元の資料、A4横のパブリックコメントの結果についてをご覧ください。

修正した箇所を網かけ表示とさせていただきます。

今回の主な修正点は、ただいまご説明申し上げました2校への説明に係る部分となっております。

1 ページ目の右側の網かけ部分、「また、パブリックコメント実施期間中に学校関係者の皆様へ内容のご説明を計画しておりましたが、学校が3月2日から臨時休業となったため、実施できませんでした。第三小学校及び第九小学校の学校運営連絡協議会の皆様には、これまでの経過と今後の取組について、学校再開後に改めてお話をさせていただいたところでは、追記いたしました。」を追記いたしました。

この内容につきましては、3ページと5ページにも同様に追記をさせていただきます。

資料の4ページをご覧ください。

こちらの修正につきましては、当初、細かく「国が」や、「東京都においては」などの記載をしておりましたが、非常に細かく分かりにくいところがございますので、国及び東京都はひとまとめにさせていただいたものでございます。適正規模を保つため、引き続き国や都の動向に注意していくとしたものでございます。

その他の修正箇所につきましても、分かりやすくするための文言修正をしているところでございます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○真如教育長 説明が終わりました。

ご質疑あれば、ご発言をお願いいたします。

岩田委員。

○岩田委員 このコロナ禍で、人が集まるのが大変難しい状況の中での説明会の開催、ありがとうございました。

学校での説明会は、具体的にどのような質問や意見があったのか、お聞かせいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○真如教育長 教育総務課長。

○齋藤教育総務課長 学校での説明会におきまして、質問及び回答につきましては、準備期間にはどのようなことを行うのか、というご質問いただいて、詳細案を作成いたしまして、皆さまにご意見等を伺いながら決めていきたいと思っております。

そのほか2校同時、合同での会議などは予定しているのですかというご質問等をいただいて、必要に応じて実施をしていきたい旨、伝えました。ご意見といたしましては、児童もPTAも統合先のルールに従うということではなくて、良い点を継承して平等に行ってほしい。そのほか、兄弟、姉妹で通っている家庭もあるので、ばらばらに登校することがないように、統合のタイミングは同時に行うなど考えてほしい。通学が遠くなる子もいる。交通安全に配慮してほしい、防災組織の再編などにも配慮してほしい、そういったご意見等がございました。

以上でございます。

○真如教育長 ほかにございませんか。

藤宮委員。

○藤宮委員 校長、副校長、その他の先生方からは何かご質問やご意見はありましたか。

○真如教育長 教育総務課長。

○齋藤教育総務課長 先生方、学校関係者からは、やはりお子様の心の部分と申しますか、統廃合に関してお子様の状態を一番にと申すことで、両校が一緒に行事を行うことなど、段階的に増やしていく必要があるということ。教職員の方の立場からの意見をいただいて、子どもたちに配慮した進め方の意見が多かった状況でございます。

以上でございます。

○真如教育長 ほかにございますか。

内野委員。

○内野委員 先ほど説明会でも、質問や意見の内容を伺い、その返答として、やはり皆さん、気になされているのが、今後どのようなスケジュールの中で行っていくか、詳細が知りたいというところですが、新型コロナウイルスの感染者が再び増えている中で、また再度、説明会等を行うことは大変困難だと思いますけれども、この計画をやはり行うに当たっては、学校運営の関係者や保護者、地域の方々の協力がやはり不可欠だと思いますので、そのあたりを考えながら丁寧

に意見を聞いて、進めていくべきであるとは思います、そのあたりはいかがでしょうか。

○真如教育長 教育総務課長。

○斎藤教育総務課長 今回の説明会におきましても、今ご指摘がありました、大きな反対意見はなく、どのように進めていくのかといった意見が非常に多くて、また口頭で説明したことが分かりやすかったという意見もいただいたところでございます。

このことから、本方針（案）や計画（案）の決定後も、説明や進行に際しての意見聴取など不可欠であると認識しております。引き続きこういった機会を持ちながら、児童・生徒を含む学校関係者、保護者、地域の皆さまの意見を聞きながら進めてまいりたいと思います。

以上でございます。

○内野委員 お願いします。

○真如教育長 ほかにございますか。

新藤委員。

○新藤委員 この適正規模及び適正配置の方針（案）、それから市立小・中学校の再編計画（案）の資料を見ますと、9ページの（1）計画の位置付けには、これらの「計画の見直し・策定に連動して今後の更新等を行う予定」や、また11ページの（3）計画期間についても、「適宜見直すものとします。」とありますが、今回のこのコロナウイルス感染症の対策で、1学級当たりの児童・生徒数の見直しを国が着手しているという情報もあるのですが、今後、国の方針が変わって、現在の1学級当たりの人数に変更が生じた場合は、この計画の方針（案）や計画（案）については、再検討する必要があるとは考えていますが、その辺はどのようにお考えでしょうか。

○真如教育長 教育総務課長。

○斎藤教育総務課長 ただいま委員の方からご指摘がございましたとおり、現在の計画は小学校1・2年生、中学校1年生を35人学級で試算してございますので、パブリックコメントの回答と重なる部分がございますが、学校教育を取り巻く環境の変化があった場合には、再検討する必要があると考えております。

ただ、その際には、本方針（案）や計画（案）が、独自に変更するのではなく、上位計画等もございますので、そういうところと密接な関わりがあることから、

調整が必要になってくると考えています。

以上でございます。

○真如教育長 新藤委員。

○新藤委員 本計画については、パブリックコメントを見ますと、頂いた資料の8ページ、提出者4の意見19で「教育的機能をより高めるための学校のあり方として、学校の統廃合はふさわしくない。」というご意見がありますけれども、私はやはり反対で、子どもたちにとって最も望ましい快適な教育環境を提供していくためには、一定程度の規模等の確保というのは、どうしても避けられないと考えております。

市民からのご意見もあるということ踏まえて、丁寧に進めていただくことを、ぜひお願いして、実現に向けてご努力をいただきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

○真如教育長 ほかにございませんか。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第4、第38号議案 東大和市立学校の適正規模及び適正配置等の方針(案)及び東大和市立小・中学校再編計画(案)について、本件を承認とすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○真如教育長 ご異議なしと認め、第38号議案 東大和市立学校の適正規模及び適正配置等の方針(案)及び東大和市立小・中学校再編計画(案)について、本件を承認と決めます。

◎日程第5 第39号議案 東大和市立学校職員出勤簿整理規程の一部を改正する規程

○真如教育長 日程第5、第39号議案 東大和市立学校職員出勤簿整理規程の一部を改正する規程について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

学校教育部参事。

○佐藤学校教育部参事兼教育指導課長 ただいま議題となりました第39号議案 東

大和市立学校職員出勤簿整理規程の一部を改正する規程につきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

今回の改正は、令和2年4月からの会計年度任用職員制度移行に伴い、現行の非常勤職員制度が廃止となるため、会計年度任用職員制度移行に対応し、所用の規程整備を行うものでございます。

今回、一部を改正する規程につきましては、令和2年8月1日から施行いたします。

説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

○真如教育長 説明が終わりました。

ご質疑あれば、ご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第5、第39号議案 東大和市立学校職員出勤簿整理規程の一部を改正する規程について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○真如教育長 ご異議なしと認め、第39号議案 東大和市立学校職員出勤簿整理規程の一部を改正する規程について、本件を承認と決めます。

◎日程第6 第40号議案 東大和市学校給食センター給食費に関する規則の一部を改正する規則

○真如教育長 日程第6、第40号議案 東大和市学校給食センター給食費に関する規則の一部を改正する規則について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

学校教育部長。

○田村学校教育部長 ただいま議題となりました第40号議案 東大和市学校給食センター給食費に関する規則の一部を改正する規則につきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、学校給食の実施基準日数に関する事項及び給食の納入日に関する事項の改正であります。

内容につきまして、ご説明を申し上げます。

お手元の資料の新旧対照表の2／6ページのところをご覧になりながら、お聞きいただければと存じます。

小学校教職員の給食実施基準日数につきましては、第2条、第1項、第3号及び第4号に、担任である小学校教職員は、担任学年の日数、担任以外の教職員は192日と規定をしておりますが、担任である小学校教職員は、担任クラスの児童が給食を食さない日であっても出勤し、給食を食しているため、担任以外の小学校教職員と食数管理上、違いがないことから、第2条、第1項、第3号を小学校教職員192日とし、第4号を削除するものであります。

第2条、第1項、第5号及び第6号につきましては、第4号の削除により号の繰上げを行うものであります。

なお、小学校教職員の給食費につきましては、一律、小学校高学年と同額としております。

次に、学校給食費の納入日につきましては、5／6ページの一番上のところに記載がございます。

第6条、第4項に納入月の20日と規定をしておりますが、民間企業の給与支給日や保護者の利便性等を考慮し、給食費の徴収が滞ることのないよう、納入日を納入月の末日に改めるものであります。

最後に附則についてであります。規則の施行日を令和2年8月1日とするものであります。

説明は以上でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

○真如教育長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第6、第40号議案 東大和市学校給食センター給食費に関する規則の一部を改正する規則について、本件を承認することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○真如教育長 ご異議なしと認め、第40号議案 東大和市学校給食センター給食費に関する規則の一部を改正する規則について、本件を承認することに決めます。

◎日程第7 その他報告事項

○真如教育長 日程第7、その他報告事項を行います。

報告事項1、平成31年度東大和市学校給食会計決算の報告について、本件の報告をお願いいたします。

給食課長。

○原給食課長 それでは、ご説明申し上げます。

その他報告1の資料をご覧ください。

平成31年度東大和市学校給食会計決算書でございます。

当市の学校給食のための費用は、市の会計ではなく、私会計で管理しております。このたび、平成31年度の決算がまとまりましたので、内容を簡単にご説明させていただきます。

1枚、おめくりいただきまして、1ページをご覧ください。

初めに、収入・支出決算書、上段収入の表になります。

科目1の給食費ですが、左から5列目の調定額をご覧ください。

こちらは2億9,877万2,160円で、その右の列の収入済額は2億9,218万6,500円で行いました。収入の割合は、97.8%で行いました。前年度、平成30年度は98.1%でしたので、若干下がっている状況でございます。その右の列の不納欠損額は、平成29年度分の給食費が支払われず未納となったもので、142万1,180円で行いました。こちらは53人、40世帯分となっております。

なお、前年度、平成28年度分は35人、25世帯分で83万9,490円で行いましたので、比較いたしますと、人数、世帯数、金額ともに増えている状況でございます。

その右の列の収入未済額は、平成30年度、31年度の給食費が支払われずに未納となっているもので、516万4,480円でございます。今後、対象の家庭に対しましては、通知の送付や電話、訪問などを行い、支払っていただきますよう督促を行ってまいりたいと考えております。

次に、その下の段の2番の繰越金、2列目の補正額の欄をご覧ください。

1,155万7,902円となっておりますが、前年度、平成30年度のからの繰越金が1,155万8,902円で行いましたので、その左の列の当初予算額1,000円を差し引いた額を補正したものでございます。

次に、太枠の合計の段の右から3番目の収入済額をご覧ください。

3億387万3,209円で、前年度と比較して2,207万3,908円の減となっております。こちらは令和2年3月の市内小・中学校の臨時休業により、給食が中止になりましたので、3月分の給食費の徴収がなかったことが大きな理由でございます。

3月分の給食費につきましては、2月に既に口座引き落としをしておりましたので、金額の確認作業後、5月中旬に還付を行っております。

続きまして、その下の表の支出でございます。

左から3列目の繰入額をご覧ください。

こちらは前年度からの繰越金を繰入れたもので1,155万7,902円ですが、便宜上、1の主食費に繰入れております。

一番下の段の合計の右から3列目、支出済額をご覧ください。

こちら3億35万8,276円で、前年度と比較いたしまして1,402万9,939円の減となっております。こちらにつきましても、令和2年3月の給食が中止となったことが影響しております。

表の下をご覧ください。

収入済額合計が3億387万3,209円、その下の支出済額合計が3億35万8,276円で、収入支出差引残高は351万4,933円ございました。こちらの金額が、令和2年度に繰り越すものでございます。

続きまして、2ページをお開きください。

こちらは収入の部明細になります。

3番の諸収入をご覧ください。

1の試食会、試食代金は12万7,690円で、金額としましては前年度と比較して若干減っておりますが、試食会の実施回数としましては、平成30年度が12回の開催であったのに対し、平成31年度は20回の開催ございました。この20回の中には、体験型見学試食会という市の事業が含まれておまして、こちらは小・中学校の児童・生徒とその保護者が参加して、学校給食センターの調理場内の見学と実際の給食調理等を体験し、試食するという事業でございまして、39人の参加がございました。

続きまして、3ページをご覧ください。

こちらは、平成31年度分の収入の明細表でございまして、学校ごとの給食費収入の内訳などを記載しております。

続きまして、4ページをお開きください。

こちらは過年度分、平成30年度分の給食費のうち、平成31年度に収入した分の内訳などを記載しております。一番上の段の合計の左から4列目の収入未済額は、180万1,640円でございますが、こちらは今年度も引き続き督促等を行っていく分でございます。

続きまして、5ページをご覧ください。

こちら先ほどと同様に、平成29年度分の給食費のうち、平成31年度に収入した分の内訳などを記載しております。一番上の段の合計の左から4列目、収入未済額は142万1,180円でございますが、これは平成29年度から平成31年度、最終的に頂くことができなかつた分になりまして、1ページ目でご説明しました不納欠損額となっております。

続きまして、6ページをお開きください。

こちらは支出の部明細になります。

支出は、給食費との主食費と副食費がございまして、例年、使用金額の構成比率というのは、前年度を参考にして調整しておりますが、平成31年度につきましても例年と同じく大きな増減はございませんでした。その中でも、2の副食費の中では、8番の魚介類の構成比率が、前年度と比較して1.8%増加し、14、15の野菜の構成比率の合計が1.2%減少しております。

続きまして、7ページをご覧ください。

こちらは月別給食延人数になります。一番下の段の右から2番目が、全体の年間の合計で112万7,802食でございました。前年度と比較して12万5,500食、減っておりまして、こちらにつきましても令和2年3月の給食が中止となったことが影響しております。

続きまして、8ページをお開きください。

こちらは月別1人1食当たりの平均栄養摂取量を、小学生と中学生別に記載しております。

下から2段目の年間の平均と、一番下の段の国基準を比較しますと、ほぼ国基準に沿った数値となっております。

最後になりますが、次のページをご覧ください。

先日、給食センター運営委員会の監査委員であります第四中学校の校長と第四中学校PTA会長のお二方に、給食会計決算のご説明をさせていただきまして、内容等をご確認いただき、特に問題がないことを確認したものでございます。

平成31年度学校給食会計決算書の説明は以上でございます。

○真如教育長 報告が終わりました。

ご質疑あれば、ご発言をお願いいたします。

○新藤委員 よろしいでしょうか。

○真如教育長 新藤委員。

○新藤委員 毎年、同じことを伺って、その未納の方がいらっしゃるのですが、納めない理由を把握できているものはございますでしょうか。もしあれば、教えていただければと思います。

○真如教育長 給食課長。

○原給食課長 未納の方の理由でございますが、明確な理由は把握してないのですが、ゆうちょ銀行に限っているというところでは、未納の引き落としができないということもあると思います。

あとは生活困窮も考えられるのですが、一応、就学援助や生活保護からの支払いもありますので、それ以外の方だと承知しているところです。

以上です。

○真如教育長 新藤委員。

○新藤委員 実際に私があるところで、校長を務めていた時のことですが、保護者から不満の声がありまして、その納めてない家庭というのは、結局、小学校1年生から中学校3年生まで、1食も払わずで、兄弟、2人分払いませんでした。ご自宅には外国製の高級車が止まっていて、学校の夏休みに入る1週間ぐらい前から家族で海外旅行に行かれるということで、通知表を早くくださいということを平気でおっしゃるような方で、払えない理由がないわけですがけれども、でも一切払わなかった。近所の人たちは知っていて、どうしてそれが許されたのだという、不満も出てきますので、いろいろとご努力はされていること、大変だということは良く分かりますけれども、ぜひ少しでもしっかりと納めている方たちの不満が出ないように、ご努力を願えればと思っております。

以上です。

○真如教育長 よろしく申し上げます。

ほかにございませんか。

岩田委員。

○岩田委員 この金額の給食費で、国の栄養摂取基準とほぼ同じぐらいの栄養が取

れているというのは、相当なご努力をされているのではないかと思います。引き続き、よろしくお願ひしたいと思ひます。

あと、試食会にたくさんの方が参加していただけていますけれども、子どもたちのきつと安心安全を保護者の目として、直接給食を口にすることによって得られるのではないかと思いますので、また今ちょっと厳しい状況ですけれども、できるようになったら大勢の方に参加していただきたいと思ひます。

以上です。

○真如教育長 よろしくお願ひします。

ほかにございますか。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、質疑を終了いたします。

続いて、報告事項の2、地区図書館への指定管理者制度導入に係る東大和市立図書館条例の一部改正の骨子について、本件の報告をお願ひいたします。

中央図書館長。

○當摩中央図書館長 それでは、その他報告事項の(2)地区図書館への指定管理者制度導入に係る東大和市立図書館条例の一部改正の骨子についてをご説明いたします。

本日、資料を差し替えさせていただきました。大変申し訳ありませんでしたが、そちらを参考にしていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

図書館では、現在の地区図書館への指定管理者制度の導入の準備を進めております。その一環といたしまして、指定管理者制度を導入するための手続等につきまして、図書館条例に規定をする必要がございます。

図書館では、市のパブリックコメントの実施要項の規定に基づき、地区図書館への指定管理者制度導入に係る東大和市立図書館条例の一部改正の骨子についてといたしまして、パブリックコメントを実施することにしております。

こちらにつきましては、9月の議会で初日になりますが、全員協議会を開催いたしましてご説明を行い、9月中旬からパブリックコメントを実施したいと考えております。つきましては、あらかじめ教育委員会に内容をご説明いたしまして、全員協議会での説明とパブリックコメントの実施につきまして、ご承認をお願ひするものであります。

それでは、内容につきまして、資料に基づきご説明をいたします。

それでは、資料の表紙を1枚おめくりいただきまして、1ページになります。

1、東大和市立図書館条例の一部改正の背景及び基本的な考え方といたしまして、東大和市立桜が丘図書館及び東大和市立清原図書館、以下、地区館と言います——の開館日及び開館時間については、かねてから拡大の要望が市民等から寄せられており、また隣接市の地区館の開館日等と比較しても差があるため、改善が必要となっていました。

市立図書館では、検討を始めるに当たり、厳しい財政事情のため、新たな人員や経費の増が見込めない中、社会状況や地域の実情に見合った開館日及び開館時間はどのような内容とすべきかを、まず定めることにいたしました。

そして、東大和市立図書館協議会からの答申や、隣接市の状況及び利用者アンケート等を参考に、見直し案を次のように設定いたしました。

- (1) 清原図書館の休館日を週1日とする。
- (2) 桜が丘図書館の夜間開館を週2日実施する。
- (3) 祝日（年末年始を除く）は開館する。

以上の3点の詳細につきましては後ほどご説明いたしますが、この3点を基本的な考え方としております。

続けます。

また、見直し内容を実現する方策として、「現体制（直営）での見直し」と「指定管理者制度の導入」の両面について、平成28年10月から具体的な検討を行い、結果としては、現体制（直営）での見直しについては困難であり、指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活用すれば可能であると判断をしました。

この検討結果につきましては、教育委員会の承認後、市長へ報告し、指定管理者制度の導入の準備をさらに進めることとしました。

以上のことを踏まえ、東大和市立図書館条例に指定管理者制度を導入するための必要事項を定めるとともに、東大和市立図書館条例の内容を整理するため、一部改正を行うものとしております。

1ページ、おめくりいただきまして、2ページの2になります。東大和市立図書館条例の一部改正の骨子となります。

こちらにつきましては、指定管理者制度の導入の手續に係る条文のほかに、先ほど申しましたが、この機会を利用しまして、条文に重要な事項等を、図書館の運営規則がございしますが、こちらから格上げをして盛り込む内容になります。

(1) 開館時間及び休館日についてです。

開館時間及び休館日の内容を東大和市長立図書館運営規則から移行し、規定します。変更内容につきましては、地区館のみを対象としたもので、別表のとおりとなります。

3 ページに別表がございますので、こちらをご覧くださいと思います。

1 ページにありました3点を、より詳細にしたものがこちらになります。

右側が改正前、左側が改正後となります。まず、開館時間についてですが、改正前につきましては、桜が丘図書館は日曜日、月曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日の6日間を午前10時から午後5時まで開館しておりまして、火曜日が休館日としておりました。

改正後の開館時間につきましては日曜日、火曜日、木曜日、土曜日及び祝日とし、午前10時から午後5時となります。したがって、休館しておりました火曜日を開館して、月曜日を休館にすることになります。

改正後の2点目ですが、水曜日及び金曜日は午前10時から午後7時までとなりまして、2日間は2時間の夜間開館を実施いたします。

その下の段の休館日についてですが、改正前につきましては、火曜日、祝日、ただし土曜日又は日曜日と重なった場合には、開館しておりました。さらに、第3木曜日、特別資料整理期間、そして年末年始ということでした。

改正後につきましては、月曜日、ただし祝日の場合は開館いたします。それから、祝日の翌日が土曜日又は日曜日に重なった場合には、月曜日を休館にしておりますので、火曜日が休みになります。

それから、第3木曜日、特別資料整理期間、年末年始については変更がございません。

なお、申し遅れましたが、アンダーラインがついているところが変更箇所となっております。

続きまして、清原図書館になります。

改正前の開館時間につきましては、日曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日で、午前10時から午後5時まで開館、月曜日と火曜日が休館となっております。

改正後につきましては、日曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日及び祝日といたします。火曜日の開館日が増えたこととなります。開館時間につきましては、午前10時から午後5時までで変更はございません。

それから、下の段の休館日についてですが、改正前は月曜日及び火曜日となっております。

2点目が、祝日については土曜日又は日曜日と重なる場合は開館していましたが、祝日は休館してありました。それから、第3木曜日と特別資料整理期間、年末年始が休館日となっております。

改正後につきましては、月曜日となります。ただし、祝日の場合は開館といたします。

それから、2点目の祝日の翌日、土曜日又は日曜日と重なった場合には、月曜日が休館してありますので、火曜日が休館日となります。第3木曜日、特別資料整理期間、年末年始についての変更はございません。

以上が具体的な変更の内容となります。

2ページへお戻りいただきまして、2の(2)その他同運営規則から同条例に移行する事項についてであります。こちらは規則から条例に格上げする事項といたしまして、1点目が図書館の事業内容について規定します。

2点目は図書館への入館等の利用の制限について規定します。

次の(3)になります。指定管理者制度の導入に係る事項について、こちらは全て新規になりますが、指定管理者制度を導入するための手続の条項になります。

1点目につきましては、地区館の運営を指定管理者が行うことについて規定します。

2点目は、指定管理者の指定手続について規定します。

3点目は、指定管理者が行う業務内容について規定します。

それから、4点目は指定管理者が行う法令遵守、適切なサービスの提供、個人情報取扱い等について規定します。

5点目は、指定管理者から教育委員会に対する業務の報告について規定します。最後の指定管理者の指定の取消し及び業務停止命令について規定します。

一部改正の骨子については以上となります。

続きまして、3番になりますが、経費抑制及び事業者の選定について、指定管理者制度導入に伴う経費についてを説明させていただいています。現体制における地区館の運営に係る経費を目安といたしまして、こちらを上限とします。さらに、公募型プロポーザル方式の採用により事業者からの提案を受けて、経費の抑制と導入の効果を総合的に勘案して事業者を選定していくことを、説明に記載さ

せていただいております。

4番の今後のスケジュールについて、上から順に説明をいたしますと、令和2年9月7日から10月6日までパブリックコメントを実施したいと考えております。

パブリックコメントの翌日から、大体12月の中旬にかけて意見等の整理、また図書館条例の改正案の整理、案の確定ということで作業をしております。

それから、中ほどになります。令和3年2月ですが、こちらは令和3年第1回の市議会定例会に上程をしたいと考えております。

教育委員会への付議につきましては、今年12月の定例会で考えております。

令和3年4月から指定管理者の募集の開始をしております。選定にはかなり時間が掛かるのですが、選定を行いまして、下段の令和4年4月1日から指定管理者による地区館の運営開始ができるように準備していきたいと考えております。

最後になります、3ページになります。

下段の表の参考で資料の取扱いに係る地区館（指定管理者）と中央館の役割分担といたしまして、左側に業務内容として、日頃、選書とレファレンスについては、中央図書館の生命線、度々私見を述べられております。

そうしたこともありますので、こちらの取扱いについて説明の記載をさせていただいております、まず選書につきましては、地区館からは、第一次選定のリストを提出してもらい、最終的には中央館で決定し、購入をいたします。

それから、除籍についてですが、引き抜き作業は地区館が行いますが、最終的な除籍は全て中央館で行います。本は全部、地区館にありますので、やはり引き抜きの作業は地区館で行っていただかないとできません。ただ、最終的に処分するのは、全部、中央館で行うことを記載しております。

最後にレファレンスになります。端末等により、その場で確認できる軽易なレファレンスは地区館においても行います。ただし、難度の高いレファレンスは、中央館で対応しますとしております。

端末で検索ワードを入力しますと、それに関連する書籍などがパソコン上で全部出ます。ですから、窓口で大体、利用者の方が求められている書籍というのは、そこでご案内できますので、地区館で全て行っていただいて、例えば地域資料のように詳しいものを調べなければいけないという場合には、中央館ではレファレンス室がありますのでそちらに資料なども整っておりますので、中央館で対応さ

せていただくこととなります。

一応、説明については以上となります。

○真如教育長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、質疑を終了いたします。

これで、その他報告事項を終了いたします。

◎閉会の辞

○真如教育長 以上をもちまして、本日予定しておりました議事日程は全て終了いたしました。

これをもって、令和2年第7回東大和市教育委員会定例会を閉会といたします。

午後 3時09分閉会

以上の会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

東大和市教育委員会教育長 真如 昌美

会議録署名委員 内野 裕子